

Title	韓国・三星グループにおける企業家精神の構築と継承
Sub Title	Construction and inheritance of entrepreneurship in Samsung group
Author	柳町, 功(Yanagimachi, Isao)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018. )
JaLC DOI	
Abstract	<p>韓国財閥の経営力はどのように評価することができるであろうか。本研究では、その経営力、言い換えるとグローバル競争力はトップマネジメント（最高経営者）の競争力という視点から評価することができると思う。</p> <p>グループトップの力量の影響するところは極めて大きく、グループに対する内外から評価・称賛のみならず批判・否定は、まさにグループトップに対するそれと同様であったと言える。現在、韓国財閥においてはグループトップの世代交代が進み、2世代目から3世代目への移行がほぼ完了に向かっている。しかしその間、経営権や支配権の継承が必ずしも順調に終了したわけではない。時に政治に翻弄され、社会とのコンフリクトに消耗した財閥であった。本研究は、グループトップの競争力がどのように高められてきたのか、根底にある企業家精神に着目して考察を行った。</p> <p>三星に代表される大手財閥の場合、一見華やかで豊かさの象徴として位置づけられる反面、韓国国内では各種の社会的格差を生み出す元凶といった非難の的にさえなっている。また国内的には常に安定しない国内政治状況ゆえ、非常に高コストの財閥経営を強いられている。</p> <p>財閥が「企業」としての本質である「ゴーイング・コンサーン」としての性質を有する以上、世代交代を順調に実現していくことは経営の無限性実現のためには必要な作業とも言えよう。しかし現実には「グループトップ＝創業者一族」という認識が一般化しており、トップマネジメントとしての能力検証以前に、創業者一族による「世襲」が既定路線化されていることに注目される。さらに経営権・支配権をめぐる創業者一族間でのコンフリクト事例は歴史的に多く存在することも併せ考えると、韓国社会としての排他的血縁志向の強さ、エリート志向の強さは財閥の一般的特徴となっていると考えられる。現在の日本の大手企業にはほとんど見られないこうした特徴が、今後、韓国の企業社会の中でどのような変容を遂げていくのか、引き続き注目していきたい。</p> <p>How can we assess the management ability of the Korean Cheabol? In this research, I think that the management ability, in other words global competitiveness, can be evaluated from the viewpoint of the top management's competitiveness. Being swayed by politics, friction with society has led to higher costs for chaebols.</p> <p>Because of the nature of "going concern", the successful realization of generational changes can be said to be a necessary task to realize the infinity of management.</p> <p>However, in reality, there is a generalization that it is natural for a founder's family to take office as the group president.</p> <p>Before the verification of the ability as top management, "heritage" by the founding family has become the default route.</p> <p>There are many historical cases of conflict among founding family members over management rights and control rights.</p> <p>The strength of exclusiveness in the Korean society and the strength of elite are characteristic of chaebol.</p> <p>We will continue to focus on what kind of changes such characteristics will achieve in Korea's corporate society in the future.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180072">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180072</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	総合政策学部	職名	教授	補助額	200 (B) 千円
	氏名	柳町 功	氏名 (英語)	Isao YANAGIMACHI		
研究課題 (日本語)						
韓国・三星グループにおける企業家精神の構築と継承						
研究課題 (英訳)						
Construction and inheritance of Entrepreneurship in Samsung group						
1. 研究成果実績の概要						
<p>韓国財閥の経営力はどのように評価することができるであろうか。本研究では、その経営力、言い換えるとグローバル競争力はトップマネジメント(最高経営者)の競争力という視点から評価することができると思う。</p> <p>グループトップの力量の影響するところは極めて大きく、グループに対する内外から評価・称賛のみならず批判・否定は、まさにグループトップに対するそれと同様であったと言える。現在、韓国財閥においてはグループトップの世代交代が進み、2世代目から3世代目への移行がほぼ完了に向かっている。しかしその間、経営権や支配権の継承が必ずしも順調に終了したわけではない。時に政治に翻弄され、社会とのコンフリクトに消耗した財閥であった。本研究は、グループトップの競争力がどのように高められてきたのか、根底にある企業家精神に着目して考察を行った。</p> <p>三星に代表される大手財閥の場合、一見華やかで豊かさの象徴として位置づけられる反面、韓国内では各種の社会的格差を生み出す元凶といった非難的にさえなっている。また国内的には常に安定しない国内政治状況ゆえ、非常に高コストの財閥経営を強いられている。</p> <p>財閥が「企業」としての本質である「ゴーイング・コンサーン」としての性質を有する以上、世代交代を順調に実現していくことは経営の無限性実現のためには必要な作業とも言えよう。しかし現実には「グループトップ＝創業者一族」という認識が一般化しており、トップマネジメントとしての能力検証以前に、創業家一族による「世襲」が既定路線化されていることに注目される。さらに経営権・支配権をめぐる創業家一族間でのコンフリクト事例は歴史的に多く存在することも併せ考えると、韓国社会としての排他的血縁志向の強さ、エリート志向の強さは財閥の一般的特徴となっていると考えられる。現在の日本の大手企業にはほとんど見られないこうした特徴が、今後、韓国の企業社会の中でどのような変容を遂げていくのか、引き続き注目していきたい。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>How can we assess the management ability of the Korean Chaebol? In this research, I think that the management ability, in other words global competitiveness, can be evaluated from the viewpoint of the top management's competitiveness. Being swayed by politics, friction with society has led to higher costs for chaebols.</p> <p>Because of the nature of "going concern", the successful realization of generational changes can be said to be a necessary task to realize the infinity of management.</p> <p>However, in reality, there is a generalization that it is natural for a founder's family to take office as the group president. Before the verification of the ability as top management, "heritage" by the founding family has become the default route. There are many historical cases of conflict among founding family members over management rights and control rights. The strength of exclusiveness in the Korean society and the strength of elite are characteristic of chaebol.</p> <p>We will continue to focus on what kind of changes such characteristics will achieve in Korea's corporate society in the future.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
柳町 功	韓国財閥におけるオーナーリスク問題	アジア経営学会第25回東部部会	2018年5月26日			
柳町 功	韓国財閥における支配の論理とオーナーリスク	アジア経営学会第25回全国大会	2018年9月16日			
柳町 功	財閥における経営と継承 - 世代交代問題に関して -	現代韓国朝鮮学会第19回研究大会	2018年12月1日			